

ドームテントの設営【指導者用】

準備するもの

テント（本体、フライシート）、支柱（太2本、細1本）、
ペグ（プラスチック4本、金属6～10本）、インナーシート

テントの張り方（平らな場所で隣のテントとの間隔を考えて場所を決める）

- ① 本体を広げ、支柱（太）2本を組み立てる。2本の支柱をテント本体に対角に置き、角にある2本のピンのうち1本（外側または大きいピン）を支柱の先に差し込む。



- ② 本体のファスナー2ヶ所を開き、交差している上側の支柱に頂上部のフックをかけ、上から順番に残りのフックをかけていく。



- ③ 細い支柱を入り口両側のピン（内側または小さいピン）に差し込む。細い支柱は、フライシートをかぶせるときは、本体に立てかけたままにしておく。



- ④ フライシートの黒いメッシュ側が入り口になるように本体にかぶせる。このとき、フライシートの縫い目と支柱が合うようにする。



- ⑤ フライシートの4隅にあるフックをテント本体の丸い金具にかけ、縫い目の部分にあるマジックテープ（各2箇所）を太い支柱にとめる。次に、入口内側にあるマジックテープ（9箇所）を細い支柱にとめる。



- ⑥ テント本体4隅のループ（黒いテープ）をプラスチックのペグで固定する。次に、入口部、後部のファスナーの先についているループ（ゴム）を金属ペグ固定する。

フライシートがテントに触れないように、ペグで張る。（2～6本）



ペグの打ち方



- ⑦ テントが完成したら、中をほうきではき、インナーシートを敷く。

寝袋（シュラフ：封筒型）の使い方

シュラフシートを寝袋に入れ、シュラフシートの中に入って寝る。

暑いときは、ファスナーをあけ、寒いときは、ファスナーを閉めて休む。

それでもまだ寒いときは、もう一つ寝袋を持ってきて、ファスナーを全部あけて、上にかけて寝る（毛布がわり）。